



里のギャラリー⑨



## エンジン整備の「トホホ」

世の中、人間は2種類に分けられます。北海道に行く人と、行かない人です。おっと、そんな話題ではありません。きょうの2種類は、機械を使うのに、取扱説明書を読む人と、勘に頼る人。う～ん、それほどの話でもないか(^~);

上の写真は、ようやく今週から出動なった田植機のエンジン部分です。すぐにセルモーターで始動したので、ラッキー!と思いきや、しばらくすると止まってしまって、やっぱり、キャブレターを分解・掃除しました。

で、再始動。この程度の整備なら

百姓なら誰でもできます。と、そんな慢心を嘲笑うかのように、エンジンが停止。

あれ? またキャブレターを分解しては掃除、組み付け。そんなことを3回く

らい繰り返しているうちに、なんともトホホなことに気づいたのでした。

ばっきゃろー!!! (自省) 外側もきれいにしとけよなあ(猛省)。

以下、詳細は省略しますが、お問



合せは却下させていただきますので、あしからず。それでも恥をしのんで、いちおう参考写真2枚を並べておきます。もちろん、ご意見は無用でございます。

## アゼ塗り機駆使の「エヘン」

トラクターに装着する「畦塗り機」という農機具が普及して、田植え準備の作業がずいぶん楽になりました。ただし田んぼに水が入ってからだと、土がトロトロになってずり落ちてしまい、きれいな土手が作れません。というのが、じっさいに使っている人の「常識」だと思います。

ところがどっこい、写真を見てください。左側がうちの田んぼです。

遅い作業で、隣の田から水が浸みてきちゃった後にもかかわらず、大きくて固いアゼができました。機械の寄せ方と走行速度をうまく調整することで、バッチリでした。エヘン。

